

MISSION

- 高密度エリアも快適に使える無線LAN内線網の構築
- 広いオフィススペースを確実にカバーすること

SOLUTION

- バーチャルセル技術の活用により42ユーザー同時通話を実現
- 3台のAPによるハンドオーバーで、移動中も安定した通信・通話が可能に

## ワークスタイルの変革を目指して 新オフィスにワイヤレスLANを導入 顧客へのソリューション提供にも効果を発揮

Company Profile

株式会社富士通ビジネスシステム

本社：東京都文京区後楽1-7-27

設立：1947年4月23日

資本金：122億2000万円

従業員数：3,345名

(連結:2006年9月末現在)

URL：<http://www.fjb.fujitsu.com/>



富士通グループのシステムインテグレータとして、コンサルティングから機器販売、ソフトウェア開発、設置工事、保守に至るまで、一貫したサービス・サポートを提供している。「Best Solution & Best Partner」をコーポレートメッセージに「今日、そして明日のベストを求めて、FJB は常に核心をつくソリューションを提供し、お客様の事業・経営のよきパートナーを目指します」を企業ビジョンとして定めている。



株式会社富士通ビジネスシステム  
マーケティング本部  
ネットワークビジネス推進部  
課長 谷口 幸一氏



株式会社富士通ビジネスシステム  
ITソリューション統括部  
ネットワーク・セキュリティソリューション部  
課長 小田 勝彦氏

**FJB**

a Fujitsu company

現代のビジネスにおいて、何よりも要求されるのがスピードの速さ。場所や時間の制約にとらわれず、自由に働ける環境づくりが進んでいます。システムインテグレータ大手の富士通ビジネスシステム(以下、FJB)でも、オフィス移転を契機に業務環境改革に着手しました。新オフィスではフリーアドレスを採用すると同時に、モバイルセントレックス環境も構築。オフィスでもモバイルでもシームレスに情報を活用できる、先進的なワークスタイルを実現しています。この新たな業務インフラを支えているのが、Meru Networksが提供する無線LANソリューションです。



## 顧客への提案力を高めるべく オフィス環境の改革に着手

顧客企業のビジネスを支える富士通グループのIT企業として、多彩なソリューション群を提供しているFJB。ネットワークやセキュリティ、アウトソーシングから業種・業務向けソリューションに至るまで、幅広い分野に事業を展開しています。さらに同社では、2006年より次世代を見据えた新たな取り組みを開始しました。現場の第一線で働く社員の生産性を飛躍的に高める、ワークスタイル変革※(※オフィス・イノベーションモデル)の推進です。

そのきっかけとなったのが、同社の関西営業本部が2006年8月に実施したオフィス移転でした。富士通ビジネスシステム 取締役 関西営業本部長 藤原 寛之氏は「25年にわたり利用してきた旧オフィスでは、今後のビジネスニーズへの即応が難しいと判断。働く環境を一新することで、様々な業務課題を解消しようと考えました」と語ります。ここで重要なテーマとなったのが、いかにして営業やSEの提案力を高めるかという点でした。

「従来は営業とSEのフロアが分かれていたため、緊密なコミュニケーションが取りにくいなどの問題がありました。そこで新オフィスでは、営業とSEをワンフロアに集めると同時に、座る場所を固定しないフリーアドレス方式も採用。すぐに顔を合わせて話ができる環境を構築することで、お客様への提案力・対応力向上を図りました」(藤原氏)。また、これと同時に取り組んだのが、ペーパーレス化の徹底です。従来はデスクやキャビネットなどに、大量の紙文書が保存されていました。これを電子化することで、効果的な情報共有や確実なドキュメント管理、省スペース化を進めました。

## 無線LAN対応携帯電話を利用した モバイルセントレックスを導入

もっとも、こうした環境を構築する上では、一つの重要な要素がありました。マーケティング本部ネットワークビジネス推進部の谷口 幸一課長は「単純にフロアのレイアウトを変えるだけでは、ワークスタイル変革を実現することは出来ません。日々の業務を支えるツールやITインフラの存在が不可欠でした」と説明します。

そこで導入したのが、auの無線LAN対応携帯電話「EO2SA」を活用した富士通が提供する「オフィス・イノベーションモデル」です。FJBでも富士通のオフィス・イノベーションを実現する要素として、こ

のソリューションを取り扱っていますが、ユーザー企業への提供に先立ち、まずは自らファーストユーザーとして導入。富士通グループが掲げるオフィス・イノベーションを実践すると同時に、その効果を検証した上でお客様に提供したいと考えたのです。このプロジェクトは、日本初のKDDI・富士通・FJB連携による構築であり、稼働実績としても最大になります。ちなみにEO2SAについても、今回の同社への導入が初の事例となりました。

本システムは、EO2SAとSIP電話機のほかに、SIPサーバ、認証/メディアサーバ、公衆電話回線ゲートウェイ、無線LANアクセスポイント(AP)などの要素で構成されています。ここで選ばれたのが、Meru Networks(以下、Meru)の無線LAN APでした。

ITソリューション統括部 ネットワーク・セキュリティソリューション部の小田 勝彦課長は「営業やSEが密集した環境の中で、いかに安定した無線設計を行うかが大きな課題でした。たとえばフロアの人数が多いため、十分な同時通話数を確保する必要がありました。またエリアが広いことから、ハンドオーバーを高速に行えることも重要なポイントでした」と振り返ります。

MeruのAPIは、こうした厳しい要求にも十分に答えられるものでした。小田氏は「Meru製品には、複数のAPを束ねて一つのAPとして利用する「バーチャルセル」機能が備わっています。これが同時通話数とハンドオーバーの問題を解消する上で大いに役立ちました。高品質な無線設計が1ヶ月程度の短期間でできたのも、Meru製品のおかげだと感じています」と続けます。

## 生産性向上とコスト削減に成功

### 顧客へのソリューション提供も推進

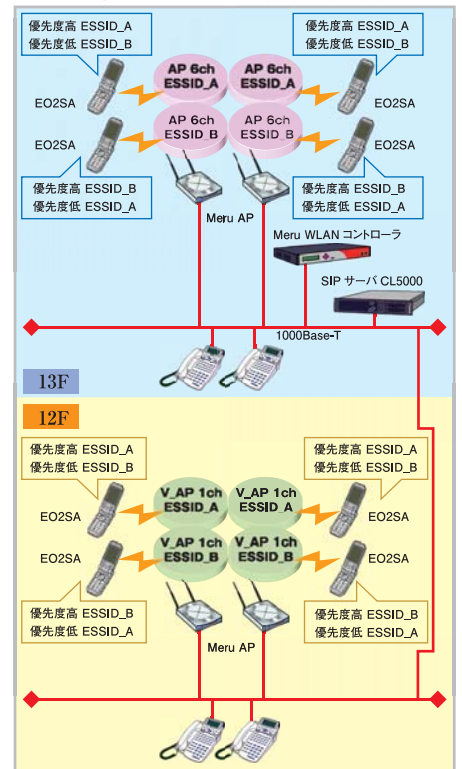
新オフィスでの業務は、2006年8月よりスタート。見通しのよいワンフロア形式のオフィスでは、約280名の営業、SEが毎日Meruの無線LANを活用しています。また約80名の営業は全員EO2SAを持ち、社内外からの連絡に即応できる体制を整えています。「従来は営業担当が離席している場合、電話機に伝言メモを貼るなどしてお客様の要件を取り次いでいました。しかし現在では、すぐに無線LANと携帯電話の内線機能を使って担当を呼び出せるため、お客様をお待たせすることがなくなりました」と谷口氏は語ります。

また営業支援システムのアプリケーションを携

帯電話から利用できるため、外出先から営業日報を送信したり、社内メールの閲覧やスケジュールを確認することも可能に。「日報を書くために帰社する必要もありませんし、メールの添付ファイルなども携帯電話で確認できます。非常に働きやすくなったと好評で、現場のモチベーション向上にもつながっています」(谷口氏)。ペーパーレス化の効果も大きく、紙の使用量を1ヶ月あたり約45%も削減。年間で約400万円程度のコスト抑制を見込んでいるとのこと。

ワークスタイル変革によって大幅な生産性向上を実現した同社ですが、今回の経験は今後のソリューションにも大いに活かされることとなります。「運用を開始して以来、大きなトラブルはほとんど経験していません。この安定稼働を、今度はお客様にもご提供していきたい。Meruの先進的な無線LANテクノロジーにも、大いに期待しています」と小田氏。藤原氏も「単なるカタログ的な知識ではなく、運用面も含めた現実的なノウハウを得られた意義は大きい。新オフィスの良さを積極的にお客様にもアピールし、今後のビジネスにつなげていきたい」と抱負を語って下さいました。

## 関西営業本部 ネットワーク構成図



※オフィス・イノベーションモデルとは…お客様の現場におけるビジネスコミュニケーションを画期的に向上させ、いつでもどこでも仕事ができるバーチャルなオフィス環境を構築する富士通のソリューションです。

【参考URL】 <http://fenics.fujitsu.com/networksolution/oim/>